

V/VIIファイル(WFM/CSV) 表示ユーティリティ 取扱説明書

第6版 2017/2/17 岩崎通信機株式会社

1. 初めに

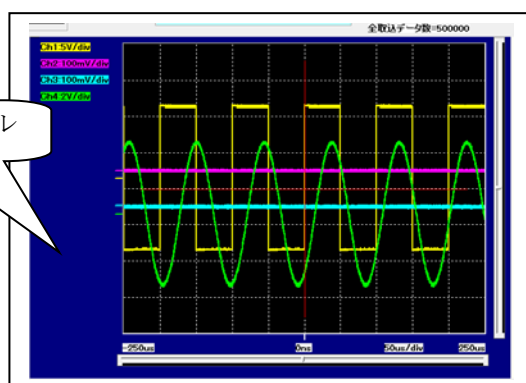
画面の色、デザインは若干変更になる場合があります。
また、本ソフトは<バイナリファイル拡大表示ユーティリティ>の機能追加版です。

2. 機能概要

■従来の機能(Ver1)

- ・岩通計測製デジタルオシロ DS-56**/DS-55**/DS-55**A/DS-54**/DS-53** (Viewgo II または Viewgo) (以下、オシロと略します)から出力されたバイナリ波形ファイル(*.wfm)をPCに入力して、波形表示を行います。ただし、MATH波形は除きます。
- ・表示された波形をPC上で簡易波形拡大を行います。

波形表示サンプル



■追加機能(Ver2～)

- ・WFMファイルが収納されたフォルダを選択して、そのフォルダのファイルを連続して、読み取って、表示できるようにしました。
途中波形は、繰り返し待ち時間を長くしたり、メッセージダイアログ表示をすることによって、モニタができるようにしました。
- ・必要な場合、表示波形を CSV ファイルに保存できます。

<csv ファイルの例>

ModelName	IWATSU DS-5514A			
FileVersion	5			
Acquisition Time	2013/11/22 13:51:01			
Time/div(second)	0.01			
Delay (second)	0			
Delta (second)	0.0002			
Acquisition Mode	Peak Detect			
Trigger Address	250			
Points	500			
Time(s)	Ch1	Ch2	Ch3	Ch4
	-5.00E-02	1.18E+01	0.00E+00	0.00E+00

■追加機能(Ver3～)

- ・DS5600に対応しました。ハイレゾ、5Mデータにも対応しました。
- ・全機種：平均データにも対応しました。
- ・データ間引き間隔機能を追加しました。
- ・スムージング機能を追加しました。

■追加機能(Ver4～)

- ・VII出力CSVファイルの再生ができるようになりました。
- ・WFMファイル読出しの際、リスケール値を考慮しました。 (Ver4.04～)
- ・連続再生の場合に、連続csvファイル格納が選択できます。 (Ver4.10～)

3. 機器構成

- ・ PC : IBM PC/AT互換機
- ・ OS (動作確認) : マクロソフト社 XP(SP3 以上)、Win7
- ・ 入力ファイル : 岩通計測社 DS-56**/DS-55**/DS-55**A/DS-54**/DS-53**出力の WFM ファイル

なお、DS5600の場合：ハイレゾ、平均データ、5Mデータにも対応しました。

4. インストール

- ・ 新規の場合

ExpWfmFile(V*.**).msi をクリックします。

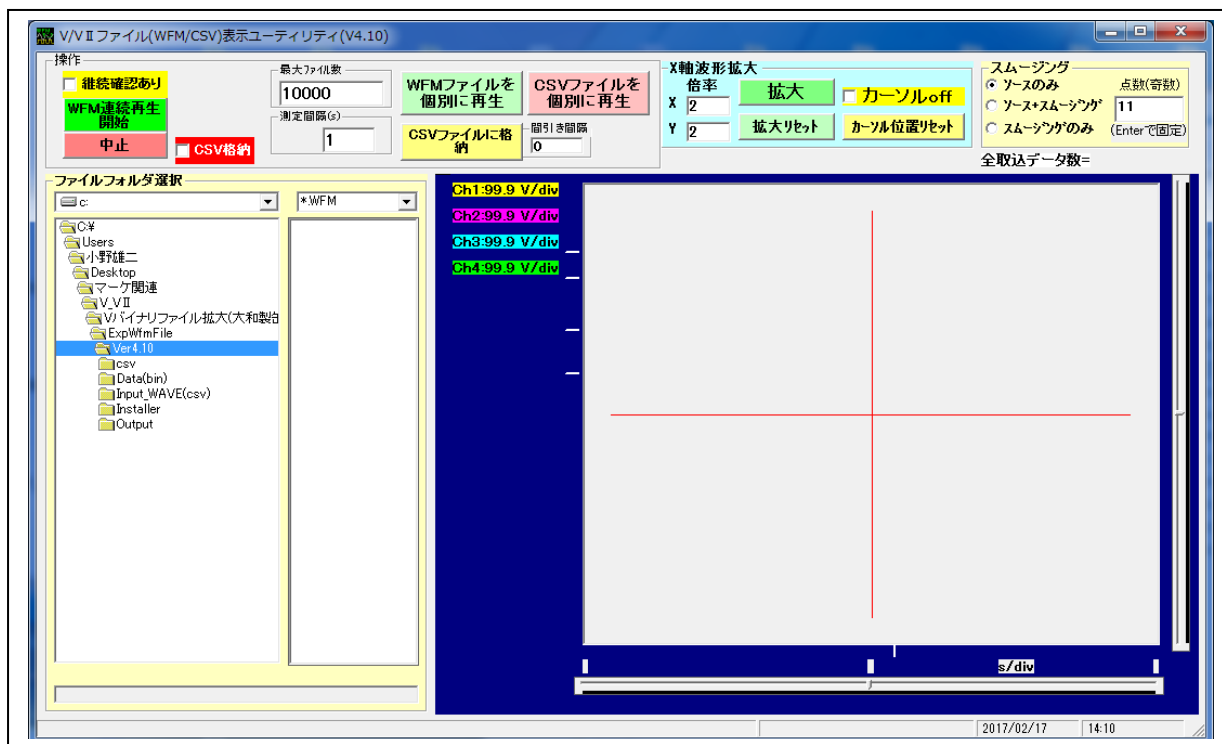
- ・ 更新の場合、ExpWfmFile(V*.**).msi をクリックして、<削除>して、再度、ExpWfmFile(V*.**).msi をクリックします。
- ・ デフォルトプログラムフォルダ：ユーザのアプリケーションフォルダ
- ・ デフォルトデータフォルダ：C:\ProgramData\ExpWfmFile

5. プログラムのスタート

<スタートメニュー>→<バ イナリファイル拡大表示ユーティリティ>
→<ExpWfmFile>を選択します。

6. 各部の操作

立ち上げ時のイメージは、概略、以下のようになります。



6.1 WFM を連続的にモニタする場合

- (1) DS で取得した WFM ファイルを特定のフォルダにまとめて格納します。
<フォルダ選択パネル>の<フォルダ選択ツリー>で、そのフォルダを選択します。
- (2) <ファイルフィルタ>を、"*.*.WFM"にしてください。
- (3) <フォルダ選択パネル>の<ファイル表示リスト>に所定のファイル群が表示されたら、WFM の全ファイルが、<最大ファイル数>に表示されます。
<最大ファイル数>を変更すれば、その回数まで繰り返します。
- (4) <測定間隔>を設定します。1 波形ずつ、ゆっくりみたい場合は、少し長く設定して下さい。
<間引き間隔>を設定します。データ格納の際、データを間引きします。0 で間引きなし。<1000。>
- (5) 途中、1 波形ずつ確認したい場合は、< 継続確認あり >にしてください。
- (6) をクリックすれば、指定されたファイル数分、連続して、WFM ファイルを読み出して、波形表示します。
- (7) 途中で止めたい場合は、 をクリックして下さい。

- (8) 表示された波形を CSV に格納するには、<中止>の状態、
 <CSV ファイルに格納>をクリックして、格納ファイル名を選択してください。
 表示中の波形データが、そのファイルに CSV 形式で格納されます。
 CSV 格納：その都度 csv ファイル(フォルダ：下位の Output)に格納します。(Ver4.10~)
- (9) スムージングを変更したい場合、<スムージング>フレームを設定してください。
 ソースのみ：ソースのみ表示
 ソース+スムージング：ソースとスムージング波形(白色、ドット)を表示
 スムージングのみ：スムージング波形(各トレース色、ドット)のみ表示
 スムージング回数：奇数で設定してください。最後に<Enter>をキーインしてください。
- (10) ディレイがオシロ画面の外的場合、ディレイマーク、オシロセンタ、オシロ終点の時間は非表示。

6.2 WFM ファイルを個別に 1 個ずつ見たい場合

- (1) <ファイルフィルタ>を、**"*.WFM"**にしてください。
- (2) 6.1 と同じように、フォルダを選択して、<ファイルフォルダ選択>の右側のファイルリストから再生したいファイルをクリックして、選択して下さい。
- (3) <WFM ファイルを個別に再生>をクリックしてください。

6.3 CSV ファイルを個別に 1 個ずつ見たい場合

- (1) <ファイルフィルタ>を、**"*.CSV;*.TXT"**にしてください。
- (2) 6.1 と同じように、フォルダを選択して、<ファイルフォルダ選択>の右側のファイルリストから再生したいファイルをクリックして、選択して下さい。
- (3) <CSV ファイルを個別に再生>をクリックしてください。

6.4 波形を拡大するには、

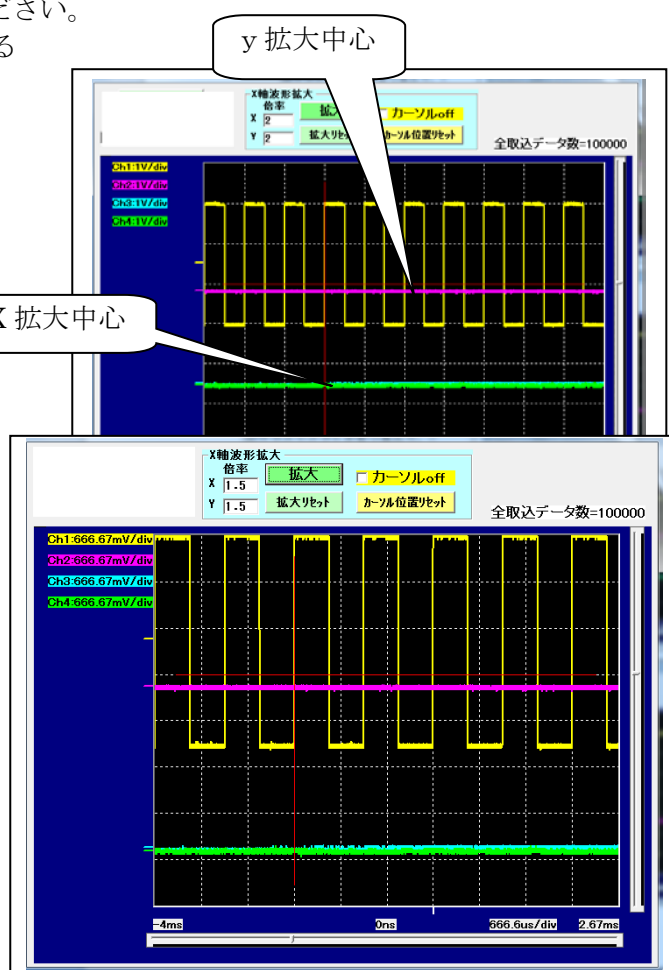
- a. x、y 倍率を設定してください。
 1 以下の値を設定すると、縮小です。ただし、拡大波形に対してのみ、有効です。
- b. x、y 拡大中心をスライダで設定してください。
 (a) マウスでスライダを何度かクリックする
 (b) マウスでスライダをつまんで、
 見たいところに引っ張って下さい。
 (c) 微小部分は、←、→を使用します。

設定位置には、赤線が表示されます。

- c. <拡大>をクリックしてください。
 カーソル位置を中心に波形を拡大し、再度、<拡大>すると、表示中の拡大波形に対して、更に、指定された倍率の<拡大>を行います。

<操作例> X 拡大率=1.5、Y 拡大率=1.5 で
 <拡大>クリックして、再度、
 <拡大>クリックすると、
 最初のカーソル位置を中心に、入力波形を $1.5 \times 1.5 = 2.25$ 倍拡大することになります。

- d. 元に戻すには<リセット>してください。
- e. <カーソル off>
 カーソル(赤線)を消します。
- f. カーソル位置リセット
 x y 共にセンタにします



以上